

# 国内投資拡大等に必要なインフラ投資の推進

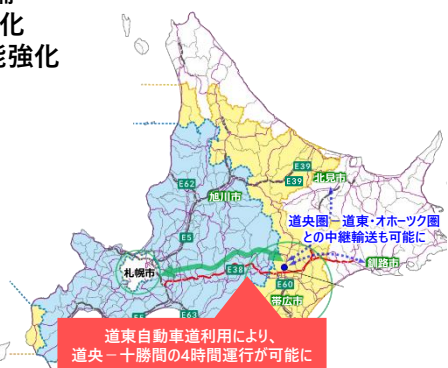
- **社会資本整備**は、国民の安全・安心や経済成長、持続可能な地域社会を支えるために必要な基盤となる**未来への投資**。
- **民間による国内投資の拡大**に当たっては、工場施設にとどまらず、物流や従業員の増加などに応じて需要が高まる**関連インフラの整備を一体的に進めていくことが重要**。国土交通省としては、企業のニーズも踏まえつつ、**重要物資に関する国家プロジェクト等の国内立地・設備投資に必要な道路、下水道等のインフラの整備を迅速かつ集中的に推進**する。
- このようなインフラ整備を的確に行っていくためには、**機動的な予算の確保を図るとともに、中長期的な見通しの下、安定的・持続的に公共投資を進めていく必要がある**。
- また、供給力強化に資する投資支援のため、**産業利用に係る土地利用についても、手続のスピードアップ等必要な協力を行う**。

- 道路ネットワークの構築・機能強化
- 整備新幹線、リニア中央新幹線の着実な整備
- 幹線鉄道の機能強化や貨物鉄道の維持・強化
- 国際拠点空港・国際コンテナ戦略港湾の機能強化



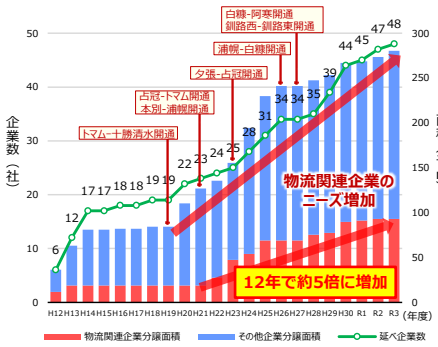
横浜港国際海上コンテナターミナル再編イメージ (2031年度完成予定)

## ■ 企業立地・設備投資に必要なインフラ整備



道東自動車道利用により、道央—十勝間の4時間運行が可能に

## ▼ 道東自動車道開通後の帯広都市圏産業集積拠点の企業立地状況



## ■ インバウンド消費5兆円等の目標達成に向けた受入環境整備

- 羽田空港アクセス鉄道の整備 (2030年頃供用開始予定)

アクセス線の整備により、東京～羽田空港の所要時間短縮

経路	所要時間
東京駅～羽田空港	約28分
東京モルレル経由	約28分
京浜急行経由	約33分
<b>JR経由</b>	<b>約18分</b>

- 成田空港の滑走路延伸及び新設 (2029年完成予定)
- 関西国際空港ターミナル改修 (2025年主要機能完成予定)
- 福岡空港滑走路増設 (2025年供用開始予定)
- 鹿児島港国際クルーズ拠点整備 (2024年度運用開始予定) 等

# 経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定) 社会資本整備関係

## 第4章 中長期の経済財政運営

### 3. 生産性を高め経済社会を支える社会資本整備

**国内投資の拡大、生産性向上、災害対応力の強化等に資するよう**、費用便益分析の客観性・透明性の向上を図りつつ、**ストック効果の高い事業への重点化を図る**。

公共事業の効率化等を図るとともに、民間事業者が安心して設備投資や人材育成を行うことができるよう、**中長期的な見通しの下、安定的・持続的な公共投資を推進しつつ、戦略的・計画的な取組を進める**。その際、現下の資材価格の高騰の状況等を注視しながら適切な価格転嫁が進むよう促した上で**今後も必要な事業量を確保しつつ、実効性のあるPDCAサイクルを回しながら、社会資本整備を着実に進める**。